

構成員、専門委員及び 研究代表者からの提言等

目 次

○ HIV検査に関する数値目標について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(加藤専門委員提出資料)	

数値目標

HIV 感染者に適切な治療を提供し、HIV 感染の拡大を防ぐために最も効果的な方策は、自らの HIV 感染を知っている感染者の割合（感染自認率）を高めることです。そのためには、なるべく多くの感染リスクのある人々に HIV 検査を受けていただくことが必要です。保健所等における年間 HIV 検査数を今後 5 年間で 50%以上増加させることを目標としてしてはいかがでしょうか。この目標の実現可能性の根拠としては、

- (1) 保健所等での検査数が平成 14 年から 20 年にかけて平均年率 19%で伸びていた
- (2) 平成 22 年の検査数 130,930 件はピークであった平成 20 年の 177,156 件に比べて 26%減少している
- (3) 検査数減少の主要な原因の一つが社会的関心の低下、

であると考えられるので、7 月から AC の広告が再開されることもあり、行政や保健所等が HIV 検査の大規模な普及啓発活動を実施することでこの程度の検査数なら伸ばすことができると考えられる。ただし、検査数が増えても検査陽性者数が増えなければ感染自認率は高まりません。一方、現状のままでも感染者の存在率（prevalence）は自然と高まるため、検査数が増えなくても検査陽性数は 5 年後に約 50%増加すると推定されます。したがって、検査陽性者数を 2 倍以上増加させることも同時に目標にする必要があると思います。

一方、新規感染者報告数のうち保健所等から報告される割合は 4 割程度で、医療機関で HIV 感染が診断される件数のほうが多いのが現状です。医療機関における HIV 検査を促進し、HIV 診断数も同様に伸ばしていかなければなりません。したがって、エイズ動向委員会への新規感染者報告数も 2 倍以上増加させることを目標にしてはいかがでしょうか。

【検査分野における数値目標】

今後 5 年間で、保健所等での年間検査数を 50%増加させ、年間陽性者数を 2 倍にする。同時に、エイズ動向委員会の新規感染者報告数を 2 倍にする。

図1. 保健所等でのHIV検査年次推移

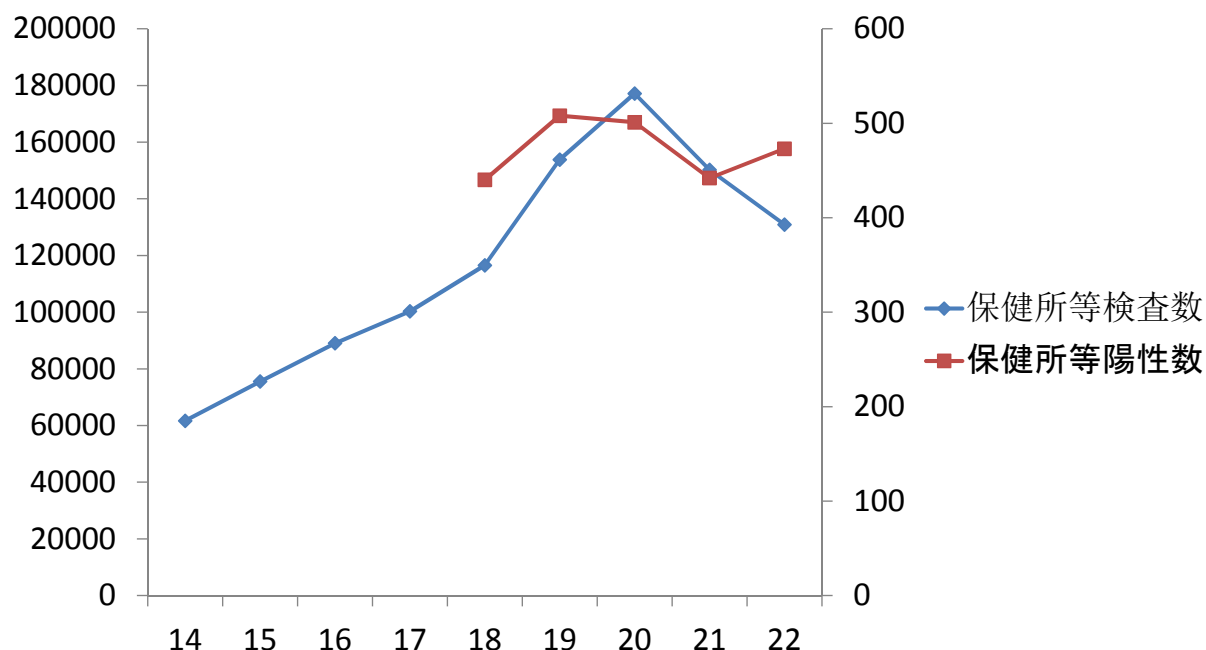


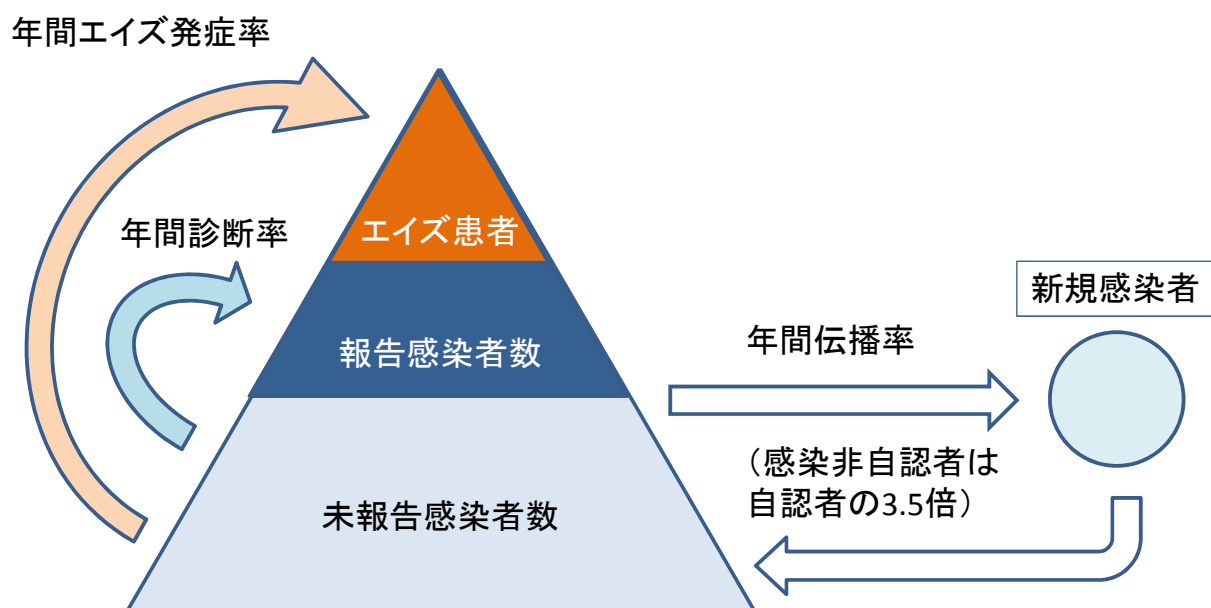
図2. 数値目標を達成した場合の 2016年末における推定数

西暦		検査数 (保健所等)	新規報告感 染者数	新規報告患 者数	新規感染者 数
2010年末	実報告数	130,930	997	436	2,012
2016年末	現状が継続 する場合	130,930	1,568	659	3,164
	数値目標達 成の場合	196,395	2,039	553	2,872

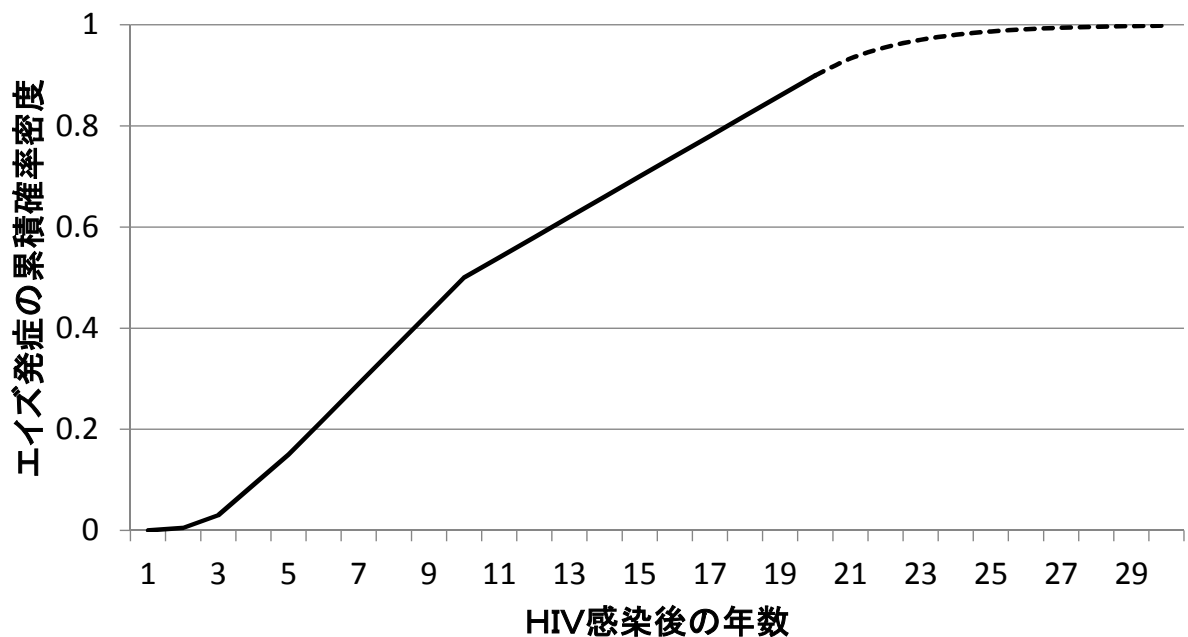
日本人HIV感染者数の推定と 将来予測

慶應義塾大学医学部
微生物学・免疫学教室
加藤真吾

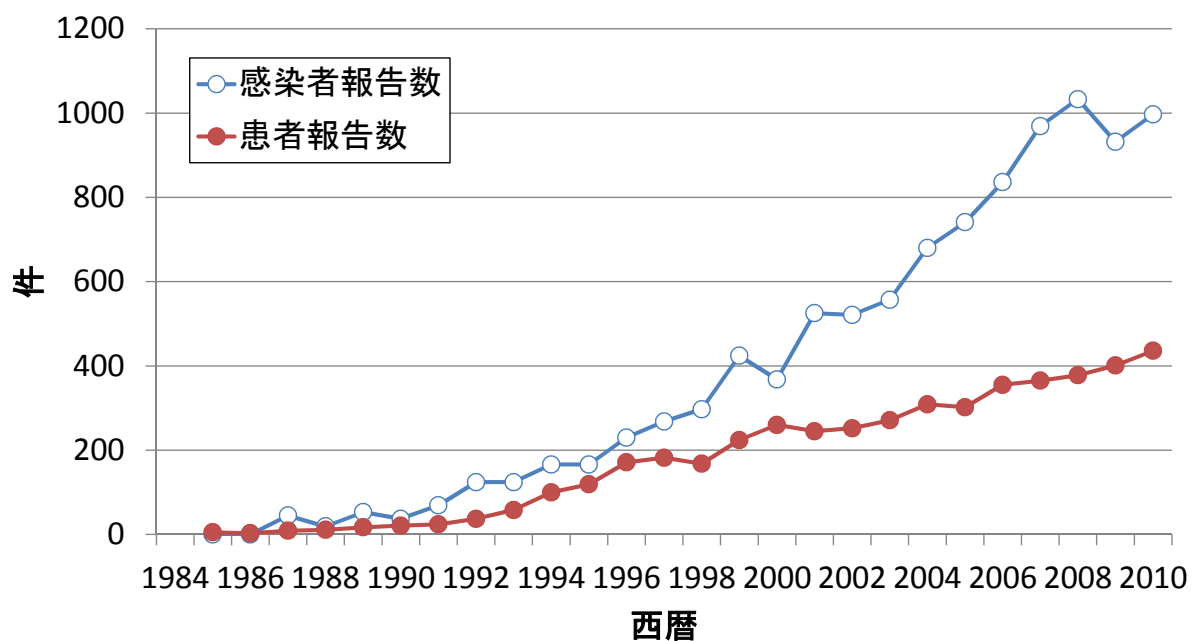
患者・感染者数推定のための Markovモデル



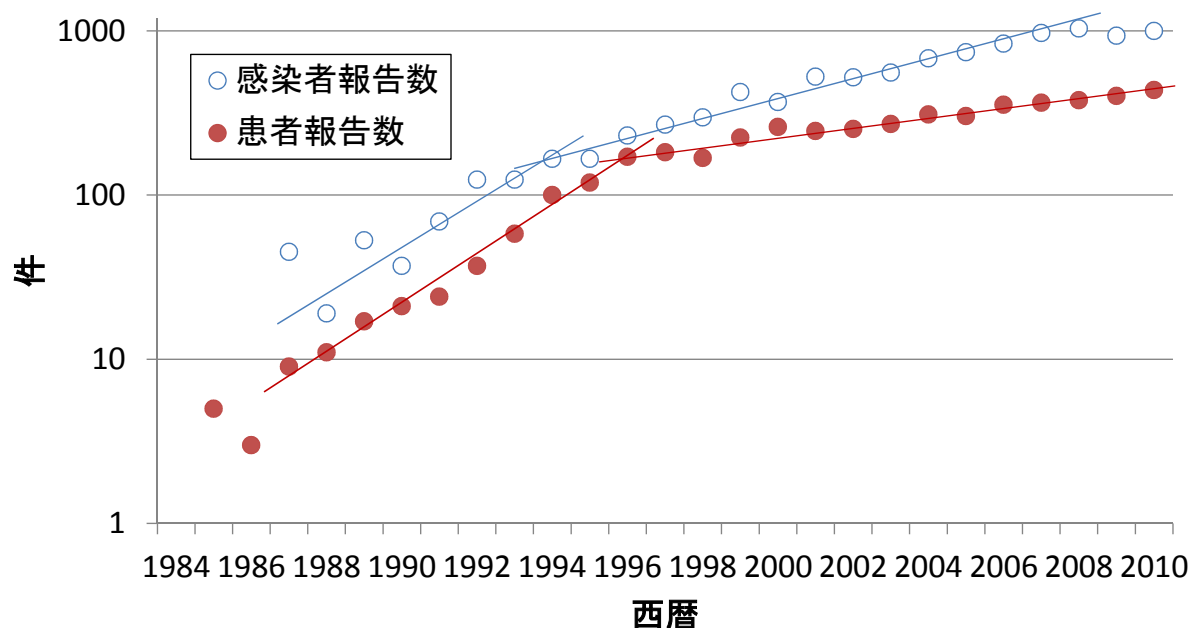
HIV感染後年数に対するエイズ発症の累積確率密度 (Chin and Lwanga [WHO], 1991)



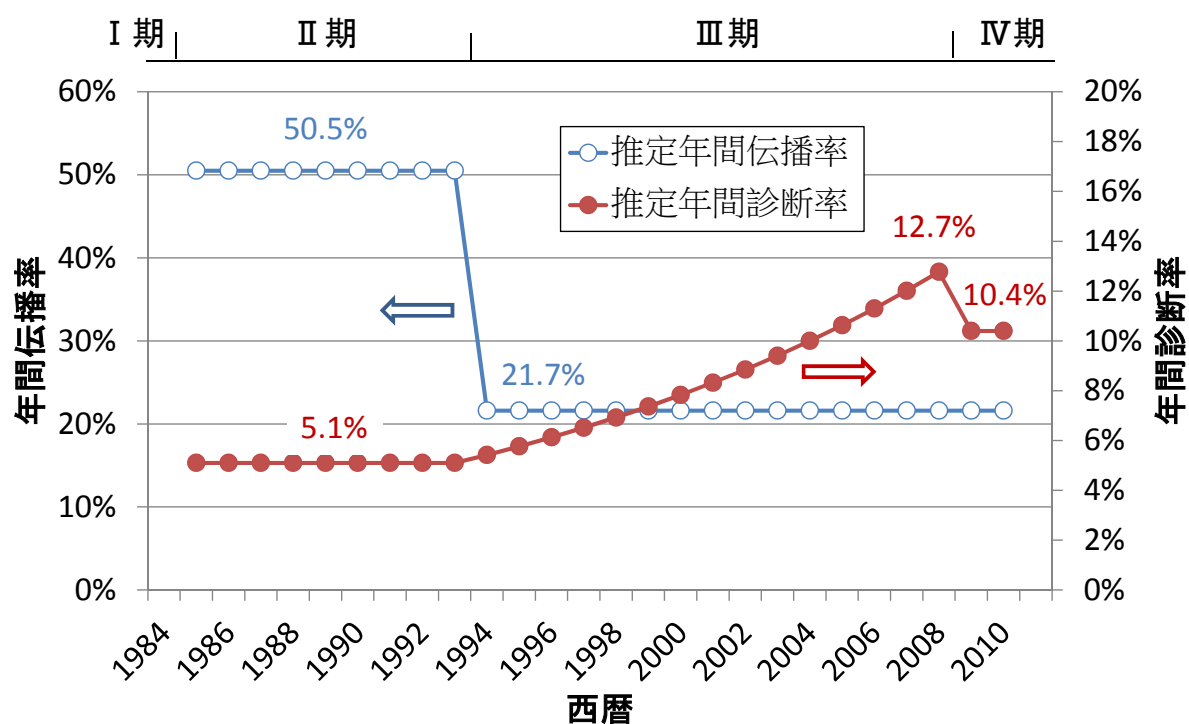
HIV感染者及びエイズ患者報告数の(日本国籍)の年次推移



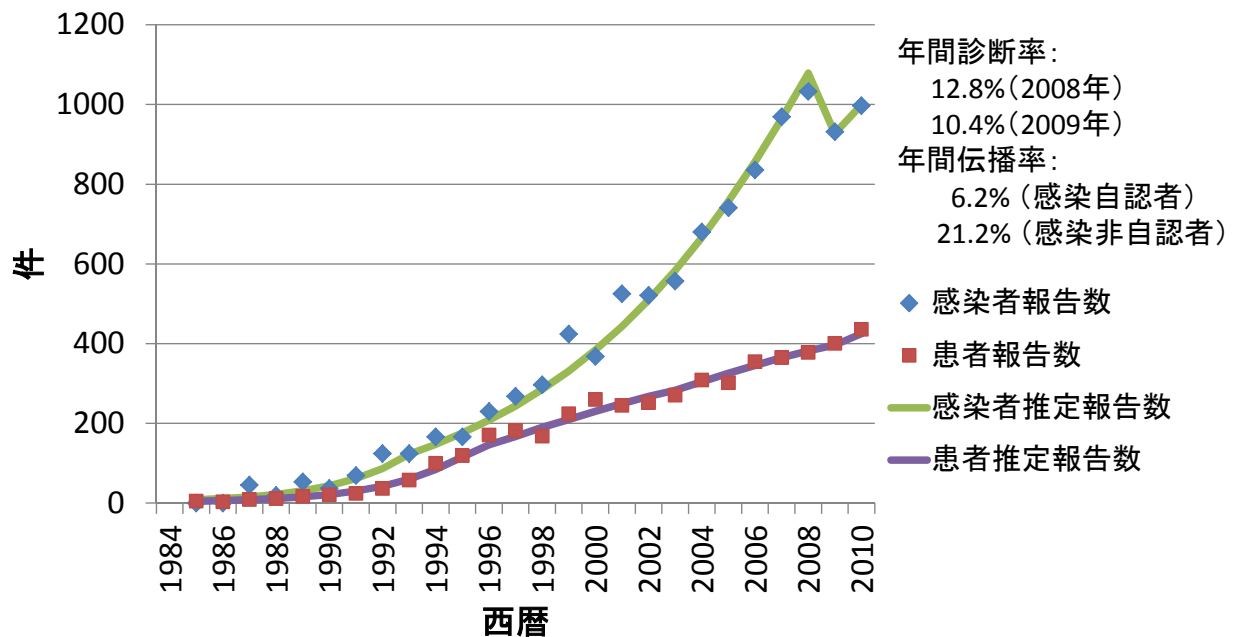
HIV感染者及びエイズ患者報告数(日本国籍) の年次推移



推定年間伝播率と推定年間診断率の推移



1985年から2010年までの報告数と推定数



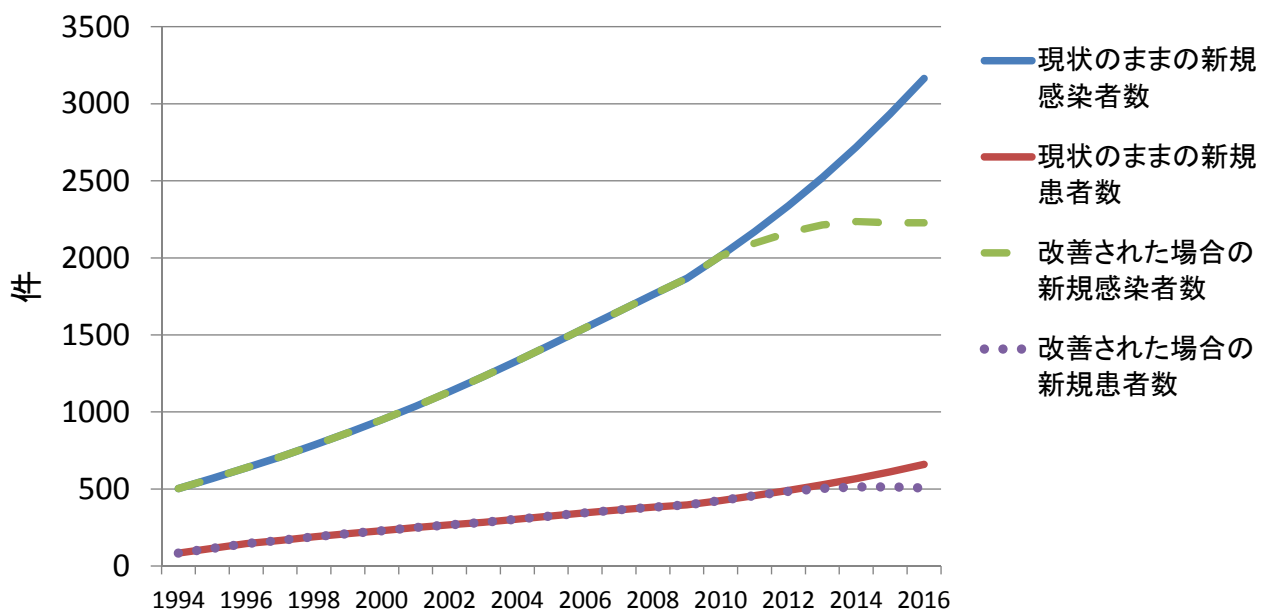
2010年における報告数と推定数

	エイズ動向委員会 報告	システムモデル 推定
累積エイズ患者報告数	4,709	4,690
累積報告HIV感染者報告数	10,159	9,961
新規エイズ患者報告数	436	425
新規HIV感染者報告数	997	999
HIV感染発生数 (incidence)		2,012
非報告HIV感染者数		8,190 (36%)
累積HIV感染者/エイズ患者数		22,842
非報告HIV感染者の年間発症率		5.2%

新規感染者数を減少傾向にするために

	年間診断率	感染自認者の 年間伝播率	感染非自認者の 年間伝播率
2009年の推定値	10.4%	6.2%	21.2%
年間診断率だけ	28.0% (2.7倍)	6.2%	21.2%
感染者だけ	10.4%	4.0% (35%減)	13.9% (35%減)
複合的アプローチ	15.6% (1.5倍)	4.7% (22%減)	16.5% (22%減)
早期診断・早期治療	15.6% (1.5倍)	2.2% (65%減)	21.2%

現状のままの場合と診断率/伝播率が改善された場合の今後のHIV/エイズ発生動向の比較



HIV感染の拡大を抑制するための 具体的数値目標

- 年間捕捉率を50%高める
 - 当面の陽性判明数を50%高める
 - 感染自認率を毎年約3%ずつ高める
- 年間伝播率を22%低下させる
 - Recent infectionを22%低下させる
- その結果、新規感染者数と新規エイズ患者数の増加を食い止めることができる。